

会 議 録

会議名	平成 26 年度第 2 回八王子市博物館協議会	
開催日時	平成 26 年 9 月 18 日(木)午後 6 時 30 分～8 時 30 分	
開催場所	八王子市郷土資料館集会室	
出席者	委員	小野一之、大村のり子、柿崎博孝、佐藤栄子、佐藤一、田野倉宏和、 藤岡換太郎、本田怜子、山中幸生、吉田幸子、 (50 音順)
	事務局	牛山清志こども科学館長、田島巨樹郷土資料館長 (文化財課長)、森融こども科学館専門幹兼主査、戸井晴夫郷土資料館担当主査、中村善行郷土資料館担当主査
欠席者	なし	
議 題	協議事項 1. 平成 26 年度八王子市こども科学館及び八王子市郷土資料館 (4～8 月分) 事業実施状況について 2. その他	
公開・非公開の別	公開	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	会議次第 平成 26 年度 (4～8 月分) こども科学館事業実施状況 平成 26 年度 (4～8 月分) 郷土資料館事業実施状況	

<p>会議の内容 (要旨)</p>	<p>八王子市こども科学館の4～8月分事業実施状況について森こども科学館専門幹兼主査、八王子市郷土資料館の4～8月分事業実施状況について八王子市郷土資料館中村主査から説明。</p> <p>— 質疑応答 —</p> <p>本田委員 郷土資料館で8月15日に実施した講座「八王子空襲と戦時下の生活」に参加しました。それまでは空襲について教科書上の知識しか持っていませんでしたが、今回初めて実際空襲を体験された方の体験談を直接聞くことが出来て、大変貴重な機会だと感じました。このような講座を今年度は何回くらい実施されたのでしょうか。</p> <p>中村主査 今回の講座1回です。</p> <p>本田委員 講演される方がご高齢なので何度もというのは難しいとは思いますがもう少し増やしてほしいと思います。以前ジェイコム八王子で中央大学の学生が戦争体験者の体験談を収録した番組を放送していました。同じように郷土資料館でも体験談をビデオ等で収録して展示室でいつでも放送できるような体制を作っていってほしいです。</p> <p>小野会長 大変重要なご意見だと思います。郷土資料館では毎年終戦記念日の時期にこうした企画を実施していることに対して敬意を表します。只今のご提案はその企画からさらに新しい展開を図るということですので事務局には検討していただけたらと思います。</p> <p>大村委員 郷土資料館のワークショップ「まゆ人形を作ろう」については、ひな祭りの時期にも実施すると思います。こちらは八王子の絹織物に関連して実施したということですね。</p> <p>中村主査 はい。来年の2月11日に同じくワークショップの一環として「まゆと織物で作るおひなさま」を実施する予定です。八王子の絹織物について学ぶという側面も含まれています。</p> <p>大村委員 郷土資料館の実績報告の中の「図書閲覧」について117人とありますが、どのような年齢構成になっていますか。</p> <p>中村主査 高齢者から小学生まで幅広い年齢層の方のご利用をいただいております。7月から8月にかけては小中学生の夏休み期間ということもあり、課題である自由研究で親子で来館され、本館の学芸員がその質問に答える姿がよく見受けられました。日常的には歴史に興味をお持ちの高齢の方が頻繁に</p>
-----------------------	--

	<p>来館され、資料を探されている方も多数いらっしゃいました。</p>
藤岡委員	<p>講座「八王子空襲と戦時下の生活」についてですが、参加者の大人と子どもの比率はどれくらいでしたか。</p>
中村主査	<p>大人の方の比率が高いです。子どもはお父さん、お母さんと一緒に参加されていましたが、少なかったです。</p>
佐藤栄委員	<p>講座「八王子空襲と戦時下の生活」に参加された子どもの反応や感想はいかがでしたか。</p>
中村主査	<p>講座後に回答してもらったアンケートには空襲という出来事があったと悲しいといった直接的な感想をいただきました。</p>
佐藤栄委員	<p>こちらとしては講座に参加して帰宅した後、子ども達が家族とどのような話し合いがなされたか気になるので、講座開催後のフォローについての体制が必要だと思います。主催者側が子どもに何をどう学んでもらうかを心に留めて、子どもたちが空襲から何を学んだかという視点に、主催者側が留意することが大切な気がします。</p>
本田委員	<p>ワークショップ「紙飛行機を作って飛ばそう」についてですが、5月に実施されたと報告がありました。これを8月の夏休み期間中に講座「八王子空襲と戦時下の生活」と合わせて実施した方が参加人数も増えるのではないかと思います。</p>
戸井主査	<p>ワークショップの紙飛行機については戦闘機というわけではなく、戦時中に使用されていた教科書に掲載されていたものを参考にして作りました。当時の子どもの遊び道具の中のひとつという観点で実施しました。</p>
柿崎委員	<p>教科書に掲載されていた紙飛行機というのは終戦後、墨塗りされた箇所だと思います。</p>
本田委員	<p>8月に実施することで、戦時中の歴史に深い興味を持つきっかけになると思います。</p>
柿崎委員	<p>こども科学館・郷土資料館両館とも今までにないような新しい事業を実施されていて嬉しく思います。ボランティアについても企画・展示に活かして欲しいと思います。こども科学館ではミニ企画展等の準備をされているのかお聞きしたいのですが。</p>
牛山館長	<p>今後については未定です。以前特別展として実施した際は偶然旧高尾自然博物館の関係者から持ち込まれた話により開催しました。われわれの力量ですと同じ内容で実施することが厳しいですが、専門で取り組まれている方をお願いすること。</p>

	<p>どうまく開催することができたと思います</p> <p>柿崎委員 こども科学館の自主企画は難しいとしてもなるべく情報を収集して外部の方の協力を得ながら展示部門の充実を図ってほしいと思います。</p> <p>牛山館長 ボランティアの方にやっていただいて大変見応えのある展示を実施することができたので、今後も内容の充実を図ってきたいと思います。</p> <p>田野倉副会長 こども科学館のプラネタリウム番組の投影スケジュールについては通年で、特に土、日曜日は固定ですか。他の企画と時間が重なり合って両方参加できないというのは残念なことですのでプラネタリウム番組投影の合間に企画を実施するようにしてはいかがでしょうか。</p> <p>牛山館長 プラネタリウム番組の投影については以前から同じやり方で継続してきています。投影回数を増やすことで来館された方の観る機会が多くなるように設定しています。</p> <p>田野倉副会長 次にこども科学館に無料入館で来館される障害者についてですが、見学を受け入れるだけでなく出前をしてこども科学館から職員が解説に出向くというのはいかがでしょうか。</p> <p>牛山館長 障害者の方々についてですが、関係者の間でこども科学館は利用しやすい施設と認識していただいております。特別支援学級等にも利用していただく機会が多くなっております。</p> <p>田野倉副会長 そうすると出前講座を実施することに問題はないのでしょうか。</p> <p>牛山館長 問題は特にありませんが、出前をして何か情報を提供することではなく、障害者の方々が施設見学する場所としてこども科学館を選んでいただくケースが多くなっているものと思われます。</p> <p>吉田委員 障害者の方々の間ではこども科学館は職員の対応が良く、接客レベルが高くて大変信頼できるという評判を聞いています。</p> <p>小野会長 障害者の減免利用については親切な対応の施設に来館されるということですし、一般のお客様にも喜ばれているということですからいいことだと思います。先ほど田野倉副会長からご指摘のあったこども科学館での事業がプラネタリウム番組の投影と重なってしまうということですが、こども科学館の方で見学のモデルコースのようなものを作って案内できれば</p>
--	--

	<p>よいと思います</p> <p>山中委員　　こども科学館事業報告に記載されている「障害者」の記述が気になります。障害の表記については「障がい」とした方がよい気がします。障害者の方々の間でこども科学館の評判が良いということであれば、今後も障害者の方々に気持ち良く利用していただけるように配慮すべきですが、八王子市の表記ルールに合わせていただければと思います。</p> <p>次に郷土資料館の「紙飛行機を作って飛ばそう」についてですが、前回の協議会で内容説明があったことを思い出しました。配付されているミュージアムカレンダーには郷土資料館でこの講座の意図が掲載されていないので市民には郷土資料館で実施する意味が伝わっていないように思います。「昔あそび①紙飛行機を作って飛ばそう」とあるだけで戦時中の教科書に掲載されている作り方を参考にしたというような説明がありません。「まゆ人形を作ろう」についても同様のことが言えるので、説明を加えるべきだと思います。</p> <p>また、紙芝居会の上演内容はどのようになっていますか。</p> <p>中村主査　　紙芝居は3種類あります。「八王子空襲」・「日光と八王子千人同心」・「松姫ものがたり」です。演目については3種類の作品を偏りなく上演するよう配慮しています。</p> <p>山中委員　　紙芝居会開催の市民への周知方法はどのようにされていますか。</p> <p>中村主査　　広報はちおうじの毎月号で掲載するとともに、八王子市のホームページで周知するようにしています。</p> <p>山中委員　　先ほどの「紙飛行機を作ろう」でもお話したように郷土資料館で紙芝居会を実施することの意義を強調してほしいと思います。</p> <p>また、「まゆ人形を作ろう」については大盛況だったとのことですが、これは開催日程が大きく影響したのか、内容が好評だったのか、その理由について具体的な検討をしていただき今後活かしてほしいと思います。</p> <p>吉田委員　　こども科学館で実施された講演会で子どもが祖父母と一緒に参加している光景がとても興味深かったです。子どもが会場で講師相手に質問し、それができたことが本人の自信につながります。参加したことにより館から記念品をもらえる。こうした受け身ではない姿勢を見て素晴らしいと感じまし</p>
--	---

	<p>た。このようなファミリーでの参加を促すような講演会を実施して行ってほしいと思います。</p> <p>佐藤一委員 郷土資料館が実施した出前講座について質問します。講座のテーマと実施内容について教えていただけますか</p> <p>また、今回の事業実績の資料で出前講座については「2・特別利用」ではなく「3・事業の開催状況」に組み込んではいかがでしょうか。</p> <p>中村主査 郷土資料館で実施している出前講座につきましては 1. 「はるかなる八王子」(縄文時代～戦国時代までの八王子の歴史) 2. 「戦国時代の八王子」(北条氏照と彼が築いた八王子城) 3. 「八王子千人同心」 4. 「八王子織物の歴史」の4件あります いずれも八王子市全体で実施しています「はちおうじ出前講座」の一環となります。</p> <p>申込件数と参加人数についてはそれぞれ1が3件51人、2が3件76人、3が2件40人、4は申し込みがありませんでした。</p> <p>出前講座の件につきましては検討いたします。</p> <p>佐藤一委員 講座「八王子空襲と戦時下の生活」についてですが、戦争体験を話せる方が年々少なくなっています。体験談をビデオに収録することを検討する時期にきているのではないのでしょうか。収録したものを小学校用、中学校用に分けて10～15分程度のシリーズものにする(生徒が集中して視聴でくのは時間を考慮)というのはいかがでしょうか。</p> <p>田島館長 本市では平和教育を担当している所管として総務部総務課があります。郷土資料館としては歴史的・文化的価値の観点から資料を活用していきたいと考えております。来年度が戦後70周年を迎えるので何か催し物を実施することができないか検討してみたいと考えております。</p> <p>山中委員 私は仕事の関係で広島市に行き平和公園に行く機会が多いのですが、そこではビデオ映像で解説があり、導入部分で体験者の話を取り入れていました。今後体験者の話はますます貴重なものになっていくのでその記録を次世代につなげていくことは大切なことだと思います。8月15日の終戦記念日前後にこうした企画が増えると思いますが、時期がお盆なので、小学生は両親の実家に帰省したりして郷土資料館に来館することが出来ないことも考えられるので、催し物を複数回実施</p>
--	--

	<p>して事前にディスカッションしたりして将来的に何ができるか検討してほしいと思います。</p>
小野会長	<p>平和の問題に関しては郷土資料館長年培ってきた資料があると思うので今後全庁的に取り組んでいくということであればぜひ資料館のご尽力をよろしくお願ひしたいと思います。それから私の方から2つお話ししたいと思います。</p> <p>こども科学館のネーミングライツについてなんです、前回収入面についてその内容と充当予算について説明いただきましたが、今回は一定期間が経過した中で運用面についてのメリットや課題などあれば教えていただけますか。</p>
牛山館長	<p>ネーミングライツについては昨年8月から始めて1年余り経過していますが、運用面につきましては一般の方々からの反応というのは割合少ない感じです。最初の頃は直営ということもあり厳しいご指摘を受けるものと思っておりましたが、あまり気になさっていないようです。むしろコニカミノルタさんは一部上場企業ですので、そのブランド力に対して好意的に受け止めていただいているようです。</p>
小野会長	<p>コニカミノルタという冠名の呼称の使い分けについては配慮されていますか。</p>
牛山館長	<p>外部からの電話に対しては「コニカミノルタサイエンスドーム」と名乗るようにしています。チラシなど記載する際はコニカミノルタサイエンスドームとこども科学館を併記しています。</p>
吉田委員	<p>以前タクシーを利用した際、タクシーの運転士に「コニカミノルタサイエンスドーム」について尋ねてみたところ、ご存じなかったです。</p>
山中委員	<p>「コニカミノルタサイエンスドーム」が八王子市の施設であるという認識が市民に浸透しているのか気になります。</p>
小野会長	<p>問題になっているのではないかと懸念しているのは、コニカミノルタはこども科学館で上映しているプラネタリウム番組のソフトの供給会社でもありますよね。この中でコニカミノルタが関係している番組はどれくらいありますか。</p>
森専門幹兼主査	<p>「宇宙兄弟」・「銀河鉄道の夜」・「ポケットモンスター」です。特にネーミングライツが付いているから番組を入れてほしいというような注文は受けておりません。</p> <p>広告料をいただいているのみですのでお互い無理な要望を出</p>

	<p>すというようなこともありません。</p> <p>小野会長 次に 2 つ目ですが、両館の連携について前回の会議で藤岡委員から話があり、大人と子どもの棲み分けについてです。大人はこども科学館は全体の 45%、郷土資料館は同じく 80%くらいだったということですが、こども科学館は子どもを対象に見られがちでも半分近くが大人ということになっています。先ほど吉田委員が指摘されたようにファミリーで利用しているという効果が表れているということが分かりました。郷土資料館の今後の課題は子どもの利用者を増やすということで、そうすることで大人の入館者も増えると考えます。その方策として子ども向けの事業を充実させているということが先ほどの報告でよく分かりましたので、今後も期待していきたいと思います。展示会についても子ども向けということ視野に入れて取り組んでいただきたいと思います。本田委員が以前おっしゃっていたように子どもが分からないようでは大人も分からないし、子ども向けにすれば大人にも理解できるということで展示会の展示工夫を検討してもらいたいと思います。</p> <p>藤岡委員 郷土資料館は前年度に比べ大人が増えているのに子どもがかなり減っていますがその理由をどう分析していますか。</p> <p>中村主査 子どもの入館者数が少ないのは例年学校見学が 9 月以降に設定されているためで、今回の報告は 8 月までだったことにその原因があると考えられます。</p> <p>吉田委員 小学校 3 年生から社会科が始まり、「八王子市」について学習します。2 学期には親や祖父母が子どもだった頃の昔（昭和時代）の生活に使われていたものを探し、見つける学習で郷土資料館を利用します。少子化のため以前は 1 人の大人につき 2～3 人の子どもを連れてきたのが今は 1 人の大人に対して子ども 1 人ということも減少の理由ではないでしょうか。</p> <p>佐藤栄委員 北海道の資料館に行った際に、多数の小学生がアイヌ民族の使っていた木造の船を再現するという企画があり、全員協力し合いながら作りあげるといった作業がとても良いと感じました。紙飛行機のように個人企画で作るだけでなく、共同でひとつのものを作り上げるという企画があつていいと思いました。</p> <p>小野会長 平成 26 年度八王子市こども科学館及び八王子市郷土資料館（4～8 月分）事業実施状況について他にないようでしたら</p>
--	--



	<p>終了します。続いてその他に移ります。何かありますか。</p> <p>中村主査 郷土資料館の主催事業で来月の2日から12日にかけて「1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念パネル展」を八王子駅南口総合事務所で開催します。こちらは自転車競技の会場となった本市の状況を写真パネルと解説で紹介し2020年に開催が決定した東京オリンピックの市民意識の機運を高めることを目的としています。</p> <p>また、1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念事業の一環として生涯学習政策課では10月13日(日)に当時の自転車競技場に埋められたタイムカプセルの披露、スポーツ振興課でオリンピックの自転車競技コースをたどる市民サイクリングという催し物が予定されています。</p> <p>田島館長 先ほど説明のあった市民サイクリングですが、これは当時の自転車競技コース(当時と若干違いがあります)を辿って自転車で走ってみるという企画で競争を目的としたものではなく、オリンピック当時を振り返ってみようという意図のイベントです。</p> <p>それから八王子城跡の経過について報告します。曳橋の老朽化が進んでいたことから昨年9月に検査したところ橋脚の強度がほとんどないということが判明しました。以降通行禁止にしてきましたが今年度の9月補正予算で解体作業を実施することになり、平成27年度中の架け直しを予定しております。</p> <p>また、平成25年度の事業としましては御主殿約280㎡の中から庭園部分を除く主殿と呼ばれる建物部分の復元的整備を行ないました。これは発掘調査で建物の一部が出ましたので平成24年度と同じように復元的整備を行なった次第です。内容としましては礎石を基にして復元したものを設置しまして当時の守殿の大きさを見ていただくというものです。平成25年度の発掘調査の成果を踏まえた内容と庭園の発掘調査を合わせて盛り込んだ看板を作成し、今年10月から公開する予定です。</p> <p>佐藤一委員 個人的なことで申し訳ないのですが、前々から会議の中で事務局の報告資料上の数値について細かく指摘している理由についてお話ししたいと思います。私は、普段学生に対してレポート課題の提出を求めるのですが、そのデータ収集のため</p>
--	--

	<p>にインターネットを利用する際、なるべく資料の提供元がしっかりしている官公庁のものを活用するように指導しています。今の学生は資料に使用しているグラフの適切な使用方法を理解していません。だからこそ模範として官公庁が作成する資料を推奨しているのでそれは適切なものでなくてはならないという思いがあるものですから、事業実績報告などの数値や説明については誤りがないよう厳しく指摘することが多くなりますが、よろしくご了承願いたいと思います。</p> <p>牛山館長 先ほどこども科学館の展示物のことでお話いただきましたが、施設の老朽化が進んでおり、館内空調設備、防水、プラネタリウム施設について休館しての大規模修繕を検討しています。それに伴い、展示物についても検討しておりまして、委託業者に依頼して更新計画を作成したいと考えております。経過につきましては今後随時報告させていただきます。</p> <p>小野会長 では他にないようでしたら平成26年度第2回八王子市博物館協議会を終了いたします。どうも有難うございました。</p>
--	---